

<b>Title</b>	自動車産業について
<b>Author</b>	坂上, 茂樹
<b>Citation</b>	経済学雑誌. 別冊. 108 卷 1 号
<b>Issue Date</b>	2007-04
<b>ISSN</b>	0451-6281
<b>Type</b>	Learning Material
<b>Textversion</b>	Publisher
<b>Publisher</b>	大阪市立大学経済学会
<b>Description</b>	

Placed on: Osaka City University Repository

# 自動車産業について

坂 上 茂 樹

自動車産業、自動車技術を巡る問題点について概説的に取上げる。

第1講では、アメリカおよび日本における自動車産業・企業の成り立ちについて比較史的観点からごく大雑把に紹介する。なぜ、アメリカ自動車企業の足腰が弱体化したのか、翻って、なぜ、日本の巨大企業がここまで成長出来たのか、おおよその見当もここでつけたい。

キーワード：自動車産業における産業組織、H. フォード、フォードシステム、GMのフルラインポリシー、GMの企業組織・財務、非自動車部門との連関、第2次世界大戦、戦前戦後の国産トラック用ガソリン機関

第2講では、高度成長期以降の日本自動車産業における企業間競争の構造について、小型自動車というセグメントを例として検討する。トップ企業にのみ有利に作用する競争のカラクリを明らかにすると共に、そのカラクリが今日においても引き続き機能し続けている点を理解してもらいたい。

キーワード：戦前の小型乗用車、戦後の小型自動車、技術導入、乗用車専用工場、トヨタ生産システム

第3講では、自動車の環境負荷、資源消費に

ついての技術的問題をごく基本的に解説する。

キーワード：排出ガス対策、石油資源、省エネルギー、ガソリン機関、ディーゼル機関、燃料電池

参考文献として一応、以下の拙著ないし分担執筆著作を挙げておくと、他にも勿論、参照されるべき多くの書物、論文がある。また、下記著作の多くにおいては複数の領域に関連する記述が含まれている。

第1講参考文献：『現代日本の自動車部品工業』日本経済評論社、1987年、『自動車』日本経済評論社、1987年、『日本のディーゼル自動車』同、1988年、『鉄道車輛工業と自動車工業』同、2005年。

第2講参考文献：『技術形成の国際比較』筑摩書房、1990年

第3講参考文献：『ロータリーエンジン』第一法規出版、1989年、『ディーゼル技術史の曲り角』信山社、1993年、『伊藤正男 トップエンジニアと仲間たち』日本経済評論社、1998年

「木を見て森を見ない」と評する向きもあろうかとは思いますが、「一本の木を見究めてからこそ森の全容について語るべし」というのが当方のモットーである。